



「一関藩田村家宣寿院六十賀図」(一関市博物館所蔵)

文学部歴史学科

第22回公開講座

# 歴史のなかの女と男

全5回

2019年 6月1日(土)～6月19日(水)

受講料  
無料

どなたでも  
受講できます

申込  
不要

直接会場に  
お越しください

東北学院大学 ホーイ記念館ホール

第1回 6月 1日(土) 13:20～14:50

戦国大名の政治戦略と婚姻関係

東京大学史料編纂所教授 久留島 典子



第2回 6月 1日(土) 15:00～16:30

大名家の奥向と男性役人・奥女中  
— 仙台藩伊達家を中心に —

東北学院大学文学部教授 菊池 慶子



第3回 6月 5日(水) 18:00～19:30

駙馬都尉の悲哀  
— 皇帝の娘とその夫の関係史 —

東北学院大学文学部教授 下倉 渉



第4回 6月12日(水) 18:00～19:30

古墳に葬られた王者は男か女か

東北学院大学文学部教授 辻 秀人



第5回 6月19日(水) 18:00～19:30

総力戦の中の女性  
— 第一次大戦のヨーロッパを中心に —

東北学院大学文学部准教授 杵淵 文夫



歴史を男女の性差の視点をもって読み解く研究は、歴史学や考古学、民俗学の各分野で、時代像や社会像に見直しを迫る成果をあげてきています。たとえば、古墳時代の「王」をめぐる理解はその一つにあげてよいでしょう。王といえば無意識のうちに男性のイメージが思い浮かぶようですが、発掘調査の性別解析を行った近年の研究では、日本列島の広い範囲で女性の被葬者が相当数存在することが明らかになり、このことの意味を問う研究が行われています。

今回の講座では、日本史・アジア史・考古学・ヨーロッパ史の分野で、女性を歴史の主体としてとりあげ、男女の関係性や役割に迫ります。思いがけない歴史の実相と出合う楽しみを味わっていただけるものと思います。



主催 東北学院大学 文学部歴史学科

お問合せ 東北学院大学 研究機関事務課 歴史学科公開講座係

TEL: 022-264-6401 FAX: 022-264-6530